



宮崎まさお

山形後援会便り 第6号(2024年9月)

庄内・最上豪雨災害

再び「大雨特別警報」発令！ ～線状降水帯で甚大な被害～

〔被災地視察行程〕

庄内空港→日向川土地改良区管内(荒瀬川氾濫地、福島揚水機場、遊佐幹線水路)→最上川土地改良区管内(北楯大堰幹線水路、北楯頭首工)

→戸沢村土地改良区管内(蔵岡、名高第1揚水機場、塩水坂)→鮭川村管内(左岸第4揚水機場、石名坂頭首工)→真室川町管内(木ノ下地区)→舟形町土地改良区管内(三光堰水路)→山形空港

◇庄内地域

7月25日に庄内・最上地方を襲った大雨では、本県2度目となる「大雨特別警報」が発令されました。

県全体の被害額は2年前の置賜地域の被害を大幅に超える**1,057億円(R4 置賜豪雨 480億円)**となり、うち農業関係被害も**273億円(R4 置賜豪雨 113億円)**といずれも**2倍以上の甚大な被害**となりました。



【荒瀬川氾濫被害】

ライン寸断など、河川氾濫や内水氾濫による溢水、流木・土砂流入が被害の原因となりました。

日向川土地改良区の富樫理事長のもと「稲作」への影響を回避するための現状把握と番水体制の構築などの迅速な対応が行われ、地元建設業者による復旧も開始されました。

特に甚大な被害に見舞われたのが、酒田市北部の荒瀬川流域や戸沢村蔵岡地域での家屋の倒壊や浸水、ライフ

視察した8/10には被災地域の幹線用水路を満々の水が流れており、視察した宮崎議員からは「すばらしい！迅速な対応に驚きました」と感謝の意が伝えられました。

日向川土地改良区の管内を後にして、かつて宮崎議員が勤務した現庄内町の「北楯大堰」(世界かんがい施設遺産登録)での被災地を視察しました。

幹線用水路の背後地法面の崩落により閉塞され濁流が住宅地に流入しましたが、奇跡的に家屋を襲うことなく最小限の被害にとどまりました。

この被災地でも

最上川土地改良区の田澤理事長のもと最上川下流左岸農業水利事業所の支援を得ながら、迅速な仮復旧工事が実施されました。

宮崎議員からは、「田澤理事長はじめ福田所長への感謝の意」とともに仮復旧工法の適格性など技術者視点での一面も見られました。

その後、北楯頭首工にて地元の管理人から豪雨時の状況についての説明を受け、勤務時の思い出や懐かしい風景に触れながら、福田所長への感謝の



【遊佐幹線水路法面崩落】



【北楯大堰水路法面崩落】



意と引き続きのご支援をお願いし、次の被災地「最上」に向かいました。

◇最上地域

戸沢村土地改良区にて最上管内及び戸沢村土地改良区管内の被災状況の説明を受け、名高第1揚水機場、塩水坂を視察。塩



【塩水坂地区地すべり発生】

水坂地域では、S40年代に開田された農地が豪雨により大規模な地すべり発生。

〔鮭川村〕

鮭川村では、隣接する林地法面が崩落し、河川閉塞により「左岸第4揚水機場」が冠水して機能停止。当時の状況や今後の復旧について施設管理者の鮭川村役場農村整備課から説明を受けました。

〔真室川町〕

新田隆治町長より、町の情勢や管内での農業農村整備の状況について、担当課長からは今回の豪雨災害の被災状況について説明を受けました。



【左岸第4揚水機場冠水】



視察場所は、木ノ下地区の土砂堆積現場と取水施設



【取水堰上流部法面崩壊】

に仮設ポンプ揚水を実施。

〔舟形町〕

この度の大雨により「三光堰水路(560ha)」の長

大法面の崩落と土砂流入により水路トンネルが閉塞。

被災の規模が大きいことや復旧工法が技術的に高度なことから国(農政局)や東北土建協からの支援を受けて、応急仮設ポンプが設置されました。



【三光堰水路法面崩落】



〔宮崎議員より〕

庄内・最上地方の悲惨な現状を見て、被災された方々が望む復旧を進藤議員とタッグを組んで、政府に訴えてまいります。



【三光堰水路トンネル】

宮崎議員の国会活動や現地調査等については、以下の公式ホームページ、Facebook でご覧いただけます。LINE での友達登録も……。

解説

参議院比例代表選挙の投票方法

全国全ての地域にお住まいの方に候補者名を書いていただける「記名式」の選挙です。

1枚目 都道府県選挙区

候補者名で投票

それぞれの都道府県で

候補者名

都道府県選挙区

2枚目 比例代表

こちらも候補者名で投票

※政党名でも可

全国どこでも

候補者名

比例代表(全国区)

ホームページ・SNSで随時情報発信中！



公式ホームページ



Facebook



LINE

発行: 宮崎まさお山形後援会

〒990-0024 山形市あさひ町 16-21

☎:023-641-7888 FAX:023-631-1502

E-mail: renmei@y-tochikairyō.or.jp